

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場会社名 石垣食品株式会社

上場取引所 東

コード番号 2901 URL <http://www.ishigakifoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石垣 裕義

問合せ先責任者 (役職名) 経理部経理課 課長

(氏名) 小西 一幸

TEL 03-3263-4444

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	139	△7.1	△10	—	△10	—	△10	—
27年3月期第1四半期	150	△17.9	△10	—	△10	—	△10	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △10百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △12百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△3.10	—
27年3月期第1四半期	△3.12	—

(参考) 持分法投資損益 平成28年3月期第1四半期 — 百万円 平成27年3月期第1四半期 — 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
28年3月期第1四半期	440	—	254	—	57.8	75.22		
27年3月期	374	—	265	—	70.8	78.35		

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 254百万円 27年3月期 265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	377	25.2	8	—	7	—	7	—	2.18	
通期	666	28.2	2	—	1	—	1	—	0.41	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、3ページ【2. サマリー情報(その他)に関する事項】(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	3,390,000 株	27年3月期	3,390,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	1,779 株	27年3月期	1,779 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	3,388,221 株	27年3月期1Q	3,388,221 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

なお、この四半期決算短信は、同レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって当社の見込みと異なるかもしれないことをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高139百万円（前年同四半期比7.1%減）、営業損失10百万円（前年同四半期は営業損失10百万円）、経常損失10百万円（前年同四半期は経常損失10百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失10百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失10百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 飲料事業

健康茶は減少傾向となっていました。インターネット通販を主取引先とするごぼう茶の徳用タイプが好調で下げ止まり、ほぼ前年並みを維持いたしました。しかし主力の麦茶について、一部好調な販売先はあったものの基本的には5月中旬以降、天候に恵まれず大幅なマイナスとなり、飲料事業合計では売上高68百万円（前年同四半期比10.1%減）となりました。

損益面では、前年同四半期より生産効率が向上したことから若干損益が改善し、営業利益10百万円（前年同四半期比6.7%増）となりました。

② 珍味事業

ビーフジャーキーは、小容量タイプが大手コンビニエンスストアチェーンに採用されたことや、駄菓子向けのOEM供給商品の好調が続くなどしましたが、自社ブランド商品について容量減少に伴う実質値上げの影響が残ったことから減収となり、売上高69百万円（前年同四半期比4.3%減）となりました。

損益面では、為替相場の円安傾向及び牛肉価格の高騰が続き、値上げが追い付かず採算の悪い状況が続いたこと、売上高が伸張せず工場稼働率が回復しなかったことから営業損失1百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）と、営業損失の計上が続いております。

③ その他

だしのもと、業務用ナルトともに好調が続き、売上高1百万円（前年同四半期比10.1%増）、営業利益0百万円（前年同四半期比16.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、主に4月に長期借入金80百万円の融資を受けたことから、総資産は440百万円（前連結会計年度末は374百万円）、負債は185百万円（前連結会計年度末は109百万円）となりました。また、主に親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことから、純資産は254百万円（前連結会計年度末は265百万円）となり、自己資本比率は57.8%（前連結会計年度末は70.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点では平成27年5月15日発表の当社「平成27年3月期決算短信 [日本基準] (連結)」に記載の内容から修正はございません。業績に影響を与える事象が明らかになり次第、適宜お知らせいたします。

なお上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績は今後様々な要因によって当社の見込みと異なるかもしれないことをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期において、重要な子会社の異動はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益への影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

その要因は主に為替の超円安傾向及び牛肉価格の高騰に伴うビーフジャーキーの採算悪化であることから、当社グループは当該状況を解消・改善すべく、現状の為替及び牛肉価格に対応した商品価格の改定、新商品投入による工場稼働率向上、中国生産子会社が輸入許可を得ることで貿易商社を通さず原料牛肉を調達できることによるコストダウンを図るなど、事業採算の改善に継続的に努めております。

また収益面においても、大手コンビニエンスストアチェーンや100円ショップへの供給開始など、増収に努めてまいります。

当社グループとしては、これらの対処を的確に行うことにより、当該状況が改善される見込みであること、及び今後の運用資金も十分に確保できていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しており、継続企業の前提に関する注記は記載しておりません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,714	59,746
受取手形及び売掛金	77,610	98,917
商品及び製品	55,468	69,034
原材料及び貯蔵品	43,226	38,152
その他	4,461	15,824
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	214,480	281,674
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	48,919	48,002
機械装置及び運搬具(純額)	16,262	15,383
土地	47,780	47,780
リース資産(純額)	1,708	1,569
建設仮勘定	5,862	5,823
その他(純額)	1,978	1,820
有形固定資産合計	122,512	120,380
無形固定資産		
借地権	19,258	19,007
リース資産	6,057	5,566
その他	1,697	1,653
無形固定資産合計	27,012	26,227
投資その他の資産		
投資有価証券	4,113	4,375
その他	6,879	8,074
投資その他の資産合計	10,992	12,450
固定資産合計	160,518	159,058
資産合計	374,998	440,733

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,218	59,971
短期借入金	15,000	7,500
1年内返済予定の長期借入金	-	11,424
リース債務	2,639	2,657
未払法人税等	1,034	798
賞与引当金	2,294	532
未払金	18,777	24,419
その他	8,272	7,138
流動負債合計	103,236	114,440
固定負債		
長期借入金	-	65,720
リース債務	5,969	5,298
繰延税金負債	313	398
固定負債合計	6,283	71,417
負債合計	109,519	185,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	53,293	53,293
利益剰余金	△102,980	△113,505
自己株式	△782	△782
株主資本合計	249,529	239,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	655	833
為替換算調整勘定	15,293	15,037
その他の包括利益累計額合計	15,949	15,870
純資産合計	265,479	254,876
負債純資産合計	374,998	440,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	150,318	139,640
売上原価	97,939	90,334
売上総利益	52,378	49,306
販売費及び一般管理費	62,747	59,934
営業損失(△)	△10,369	△10,628
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	32	32
為替差益	-	845
雑収入	51	-
営業外収益合計	88	879
営業外費用		
支払利息	74	313
為替差損	77	-
雑損失	10	36
営業外費用合計	163	350
経常損失(△)	△10,443	△10,098
税金等調整前四半期純損失(△)	△10,443	△10,098
法人税、住民税及び事業税	145	425
法人税等合計	145	425
四半期純損失(△)	△10,588	△10,524
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,588	△10,524

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△10,588	△10,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	223	177
為替換算調整勘定	△2,408	△256
その他の包括利益合計	△2,185	△78
四半期包括利益	△12,773	△10,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,773	△10,603
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。